

## 0歳児からの積み上げ保育を実践



## すくすくハウスの7感を育てる環境

①視覚

②聴覚

③臭覚

④味覚

⑤触覚

⑥前庭覚

⑦固有覚

この2つが  
合わさると、  
**『意欲』**  
と  
**『思いやりの心』**  
の芽が生まれます！



## 「意欲」と「思いやりの心」を育てる



0歳児  
いちご組

1対1を大切にした関わり  
(食事・排泄・着脱の担当制)  
= **思いやりの心**



1歳児  
もも組

1対1での思いの共感  
= **思いやりの心**



2歳児  
れもん組

集団保育への準備  
“ことば”が分かる“ことば”を聞こうとする



3歳児  
りんご組

イメージ(ファンタジー)の  
世界で楽しむ



4歳児  
みかん組

友達と共に楽しむ



5歳児  
うめ組

リーダーシップを育てる  
役割交替  
ゆずり合う心= **思いやりの心**

すくすく  
ハウス  
では  
一対一の  
担当制

発達にあった  
おもちゃ  
+  
「7感」を育てる  
環境で  
感覚統合あそび

興味と集中

生の経験に対する  
“褒めことば”かけ

非認知能力  
意欲・いきる力

**異年齢縦割り  
グループ**



## 0～3歳からは「個々の発達段階」で育つ

### 自己肯定感を育てる



0歳児期  
いちご組

母親(先生)の微笑み・言葉かけ  
愛着関係の構築(安心感)

わらべうた  
ベビーマッサージ  
発達段階に合わせた  
「おもちゃ」  
微細運動と粗大運動  
への言葉かけ



1歳児期  
もも組

1対1での思いの共感  
人に対する信頼  
「わたし(自分)」の認識

簡単なごっこ遊び  
役割・共同



2歳児期  
れもん組

集団活動への準備  
「わたし(自分)」と「あなた(他人)」

個々に対応した  
個別保育

『自己肯定感』が育つ  
自分に自信がある=自己肯定感が強い  
チャレンジ精神=意欲

すくすくハウスの  
実践する保育

1対1の関わりを  
大切にした  
担当制

保育者の見守りと  
達成した時の  
「言葉かけ」  
=ほめことば  
肯定的な関わり

個々に対応した  
個別保育

『自己肯定感』が育つ  
自分に自信がある=自己肯定感が強い  
チャレンジ精神=意欲

①視覚

②聴覚

③臭覚

④味覚

⑤触覚

⑥前庭覚

⑦固有覚

3歳からは「異年齢縦割りグループ」で育つ  
『いきる力』を育てる



うみG



たいようG

すくすくハウスの実践する保育・教育  
「あそび」と「まなび」

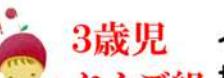
異年齢縦割り  
グループ

3歳児は「学ぶ」  
4歳児は「つなぐ」  
5歳児は「導く」  
子ども達が  
『ともに育ち合う』あそびや活動を展開  
この過程を  
「うみ」「たいよう」の  
異年齢縦割りグループで  
深めていく

他者理解  
社会性の確立へ  
遊びを通した色々な体験  
失敗も成功も遊びの中で  
はOK=生の経験から学ぶ

生の経験  
本物の体験に  
対する  
“ことば”かけ  
感情の共有

非認知能力  
意欲・いきる力



3歳児  
りんご組

イメージ(ファンタジー)の  
世界で楽しむ

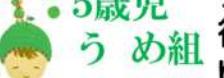
想像力・創造力



4歳児  
みかん組

友達と共に楽しむ

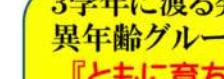
共感力・コミュニケーション能力



5歳児  
うめ組

リーダーシップを育てる  
役割交替

ゆずり合う心= **思いやりの心**



3歳に渡る  
発達の過程をひとつの  
異年齢グループで実践することにより  
『ともに育ち合う』関係が成立つ

「あそび」を通して「まなぶ」ことにより  
非認知能力=『いきる力』を伸ばす。

『あそびの天才 まなびの天才』